

調査対象物質	分析法フローチャート	備考
<p>[8]2-エチルアミノ-4-イソプロピルアミノ-6-メチルチオ-1,3,5-トリアジン（別名：アメトリン）</p> <p>[21] [1α(S[*]),3α]-(\pm)-シアノ(3-フェノキシフェニル)メチル=3-(2,2-ジクロロエチル)-2,2-ジメチルシクロプロパンカルボキシレート（別名：α-シペルメトリン）</p> <p>[35]チオリン酸 O,O-ジエチル-O-2-キノキサリニル（別名：キナルホス）</p> <p>[37]2,3,5,6-テトラフルオロ-4-メチルベンジル=(Z)-3-(2-クロロ-3,3,3-トリフルオロ-1-プロペニル)-2,2-ジメチルシクロプロパンカルボキシレート（別名：テフルトリン）</p> <p>[44]2-(4-ブロモジフルオロメトキシフェニル)-2-メチルプロピル=3-フェノキシベンジルエーテル（別名：ハルフェンプロックス）</p> <p>[52]メチル=2-(4,6-ジメトキシ-2-ピリミジニルオキシ)-6-[1-(メトキシイミノ)エチル]ベンゾアート（別名：ピリミノバックメチル）</p>	<p>【水質】</p> <p>[52]については、以下の方法により固相抽出後GC/MS-SIM-EIにて詳細環境調査対象物質[11]及び[30]と同時分析された例があった。</p>	<p>分析原理：GC/MS-SIM-EI</p> <p>検出下限値： 【水質】（ng/L） [8] 3.2 [21] 10 [35] 8 [37] 8 [44] 13 [52] 17 は異性体ごとの検出下限値の合計とした。</p> <p>分析条件： 機器 GC：HP5890 II又はHP6890 MS：JMS-AM II 50 カラム Agilent Ultra 2 25m×0.2mm、0.33μm</p>
「平成17年度化学物質分析法開発調査報告書」準拠		

調査対象物質	分析法フローチャート	備 考
<p>[7] S-エチル=2-(4-クロロ-2-メチルフェノキシ)チオアセタート (別名: フェノチオール又はMCPAチオエチル)</p> <p>[13] 4-オキシラニル-1,2-エポキシシクロヘキサン</p> <p>[35] チオリン酸 O,O-ジエチル-O-2-キノキサリニル (別名: キナルホス)</p> <p>[37] 2,3,5,6-テトラフルオロ-4-メチルベンジル=(Z)-3-(2-クロロ-3,3,3-トリフルオロ-1-プロペニル)-2,2-ジメチルシクロプロパンカルボキシラート (別名: テフルトリン)</p>	<p>【大気】</p> <p>大気 → 捕集 (Sep-Pak PS-AIR, 0.5L/分×24時間) → 溶出 (メタノール 10mL) → 濃縮 (窒素バース, 0.1又は1mLまで) → GC/MS-SIM-EI</p> <p>シリコンオイル添加 (メナントレン-d8 50又は100ng)</p> <p>「平成17年度化学物質分析法開発調査報告書」準拠</p>	<p>分析原理: GC/MS-SIM-EI</p> <p>検出下限値: 【大気】 (ng/m³) [7] 9 [13] 16 [35] 3 [37] 0.5</p> <p>分析条件: 機器 GC: Agilent 6890 MS: JMS-K9 又は GCMS-QP2010</p> <p>カラム HP-5MS 30m×0.25mm、0.25μm 又は DB-5MS 30m×0.25mm、0.25μm</p>